

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【公開番号】特開2010-11124(P2010-11124A)

【公開日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2008-168493(P2008-168493)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、
インタレース走査またはプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するように前記撮像素子を駆動する駆動手段と、
 前記撮像素子から出力される前記画像信号に基づいて、前記被写体の状態を検出する検出手段と、
前記検出手段により検出された前記被写体の状態に応じて、前記駆動手段により前記撮像素子をインタレース走査して前記被写体を撮像するインタレース撮影と、前記駆動手段により前記撮像素子をプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するプログレッシブ撮影のいずれかを行うように制御する制御手段と、を有し、
前記制御手段は、前記被写体に特定の部位が存在する場合に、前記撮像素子が前記プログレッシブ撮影を行うように制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

被写体を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、
インタレース走査またはプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するように前記撮像素子を駆動する駆動手段と、
前記撮像素子から出力される前記画像信号に基づいて、前記被写体の状態を検出する検出手段と、
前記検出手段により検出された前記被写体の状態に応じて、前記駆動手段により前記撮像素子をインタレース走査して前記被写体を撮像するインタレース撮影と、前記駆動手段により前記撮像素子をプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するプログレッシブ撮影のいずれかを行うように制御する制御手段と、を有し、
前記制御手段は、前記被写体の輝度が所定の閾値よりも低い場合に、前記撮像素子が前記プログレッシブ撮影を行うように制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 3】

被写体を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、
インタレース走査またはプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するように前記撮像素子を駆動する駆動手段と、
前記撮像素子から出力される前記画像信号に基づいて、前記被写体の状態を検出する検

出手段と、

前記検出手段により検出された前記被写体の状態に応じて、前記駆動手段により前記撮像素子をインタレース走査して前記被写体を撮像するインタレース撮影と、前記駆動手段により前記撮像素子をプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するプログレッシブ撮影のいずれかを行うように制御する制御手段と、を有し、

前記制御手段は、前記被写体の色が所定範囲内にある場合に、前記撮像素子前記インタレース撮影を行うように制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 4】

前記撮像素子をインタレース走査することで得られる前記画像信号に基づいて動画を出力する動画信号処理手段と、

前記撮像素子をプログレッシブ走査することで得られる前記画像信号に基づいて静止画を出力する静止画信号処理手段と、

前記撮像素子をインタレース走査することで得られる前記画像信号の走査線を補間して静止画を出力する走査線補間手段と、

を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 5】

被写体を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、

インタレース走査またはプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するように前記撮像素子を駆動する駆動手段と、

動画撮影記録待機中または動画撮影記録中に静止画を撮影記録する場合に、前記駆動手段により前記撮像素子をインタレース走査するように制御し、動画を撮影記録しない状態で静止画を撮影記録する場合に、前記駆動手段により前記撮像素子をプログレッシブ走査して静止画を撮影記録するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 6】

前記撮像素子をインタレース走査することで得られる前記画像信号に基づいて動画を出力する動画信号処理手段と、

前記撮像素子をプログレッシブ走査することで得られる前記画像信号に基づいて静止画を出力する静止画信号処理手段と、

前記撮像素子をインタレース走査することで得られる前記画像信号の走査線を補間して静止画を出力する走査線補間手段と、を更に有することを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の一側面としての撮像装置は、被写体を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、インタレース走査またはプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するように前記撮像素子を駆動する駆動手段と、前記撮像素子から出力される前記画像信号に基づいて、前記被写体の状態を検出する検出手段と、前記検出手段により検出された前記被写体の状態に応じて、前記駆動手段により前記撮像素子をインタレース走査して前記被写体を撮像するインタレース撮影と、前記駆動手段により前記撮像素子をプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するプログレッシブ撮影のいずれかを行うように制御する制御手段と、を有し、前記制御手段は、前記被写体に特定の部位が存在する場合に、前記撮像素子が前記プログレッシブ撮影を行うように制御することを特徴とする。

また、本発明の他の側面としての撮像装置は、被写体を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、インタレース走査またはプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するように前記撮像素子を駆動する駆動手段と、前記撮像素子から出力される前記画像信号に基づい

て、前記被写体の状態を検出する検出手段と、前記検出手段により検出された前記被写体の状態に応じて、前記駆動手段により前記撮像素子をインタレース走査して前記被写体を撮像するインタレース撮影と、前記駆動手段により前記撮像素子をプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するプログレッシブ撮影のいずれかを行うように制御する制御手段と、を有し、前記制御手段は、前記被写体の輝度が所定の閾値よりも低い場合に、前記撮像素子が前記プログレッシブ撮影を行うように制御することを特徴とする。

また、本発明の他の側面としての撮像装置は、被写体を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、インタレース走査またはプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するように前記撮像素子を駆動する駆動手段と、前記撮像素子から出力される前記画像信号に基づいて、前記被写体の状態を検出する検出手段と、前記検出手段により検出された前記被写体の状態に応じて、前記駆動手段により前記撮像素子をインタレース走査して前記被写体を撮像するインタレース撮影と、前記駆動手段により前記撮像素子をプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するプログレッシブ撮影のいずれかを行うように制御する制御手段と、を有し、前記制御手段は、前記被写体の色が所定範囲内にある場合に、前記撮像素子前記インタレース撮影を行うように制御することを特徴とする。

また、本発明の他の側面としての撮像装置は、被写体を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、インタレース走査またはプログレッシブ走査して前記被写体を撮像するように前記撮像素子を駆動する駆動手段と、動画撮影記録待機中または動画撮影記録中に静止画を撮影記録する場合に、前記駆動手段により前記撮像素子をインタレース走査するように制御し、動画を撮影記録しない状態で静止画を撮影記録する場合に、前記駆動手段により前記撮像素子をプログレッシブ走査して静止画を撮影記録するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。